

平成30年度事業報告書

社会福祉法人 札幌肢体不自由福祉会

社会福祉法人札幌肢体不自由福祉会は平成23年に設立し、第2種社会福祉事業の生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」、居宅介護(重度訪問介護)事業所「ヘルパーステーションDAI-ふく」と、公益事業の地域共同作業所「ふれあいセンター823」、「ふれあいセンター翔」を運営して参りました。その後、平成25年3月末で「ふれあいセンター823」を閉鎖し、その事業活動を生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」に移行しており、平成27年8月末には「ふれあいセンター翔」を閉鎖し、その事業活動を同年9月開設の生活介護事業所「O・むすび」と「O・H・G(おはぎ)」に移行しており、法人設立時の課題であった地域共同作業所の社会福祉事業化(生活介護事業への移行)が、平成27年度で完了しております。

なお、公益事業の福祉有償運送事業については、当法人の柱でもある社会福祉事業(生活介護事業、居宅介護・重度訪問介護事業)の需要(利用者)の増加により、人的・物的(支援員、運転員、車両)に調整が困難となったことから、平成26年11月より福祉有償運送単独での事業活動を見合わせております。

法人の基本方針及び運営理念に基づいて実施した平成30年度事業の結果について報告します。

1 法人の基本方針

誰もが人として認められ、幸せに生きることができる社会の実現をめざすとともに、地域との結びつきを重視し、利用者及びその家族が地域住民との交流の機会が確保されるよう努めます。

また、事業運営にあたっては、常に福祉サービスを受ける側の立場に立って、個の尊重及び自立支援を基礎に、利用者本位の良質かつ適切な福祉サービスを提供します。

2 運営理念

- (1) 重度障がい児者の尊厳を守るとともに、「利用者本位の運営」を行います。
- (2) 地域の方々との交流を深め、「社会参加の促進」を図ります。
- (3) 重度障がい児者に対する「日常生活の支援」を行います。
- (4) 一般就労が困難な重度障がい児者に対し、「創作的活動の機会」を提供します。
- (5) 当事者団体だからこそできる「思いを形」にします。

【実施事業】

事業名	施設区分	施設種別・施設名	定員
第 二 種 社会福祉 事 業	障害福祉サービス	生活介護事業 O・H・G(おはぎ)	20名
	障害福祉サービス	生活介護事業 O・むすび(おむすび)	20名
	障害福祉サービス	居宅介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
	障害福祉サービス	重度訪問介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
	障害福祉サービス	移動支援事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	

3 評議員の状況(定数9名)

※社会福祉法の改正により、平成29年2月23日開催の評議員選任・解任委員会において選任

平成29年4月1日就任、任期:平成33年6月に開催予定の定期評議員会終了時まで(役職等は選任時現在)

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
評議員	石川 誠 丈	平成29年4月1日	新任	住職、民生・児童委員
評議員	落合 正子	平成29年4月1日	新任	元NPO法人理事長
評議員	才野 修 広	平成29年4月1日	新任	利用者家族
評議員	瀧 三紀子	平成29年4月1日	新任	利用者家族
評議員	花田 貴 博	平成29年4月1日	新任	有限会社代表
評議員	松坂 優	平成29年4月1日	新任	社会福祉法人理事長
評議員	武藤 雅 人	平成29年4月1日	辞任	※平成30年10月31日辞任
評議員	佐藤 一 輝	平成31年2月5日	新任	会社員(上記評議員の補欠選任)
評議員	吉田 貫 一	平成29年4月1日	新任	会社代表取締役
評議員	渡辺 あや子	平成29年4月1日	新任	NPO法人会長

4 役員の状況(定数:理事6名、監事2名)

改選:平成29年6月23日の定時評議員会で選任

※任期:平成31年6月開催の定期評議員会終了時まで(役職等は改選時現在)

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
理事長	山内 まゆみ	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事
理事	我妻 武	平成27年3月25日	重任	NPO法人理事長、社会福祉法人理事
理事	中平 寛	平成29年3月25日	重任	公益財団法人常務理事(事務局長)
理事	徳永 瑞穂	平成29年3月25日	重任	NPO法人事務局長
理事	菊地 ひとみ	平成23年8月24日	重任	法人施設長
理事	内海 信一郎	平成27年3月25日	重任	法人事務局長
監事	齋藤 洋介	平成27年6月1日	重任	社会福祉法人職員(副園長)
監事	泉 司	平成27年8月5日	重任	一般社団法人常務理事(事務局長)

5 評議員会の開催状況

区分	開催月日・場所	出席者数	議題等
定時	平成30年6月22日(金) 札幌市身体障害者福祉 センター 研修室	評議員9名中 6名出席 役員の状況 理事 4名出席	<p><決議事項></p> <p>①平成29年度事業報告書の件 ②平成29年度決算報告書の件 ※全て原案どおり承認、可決</p> <p><報告事項></p> <p>①平成29年度決算監査報告 ②平成30年度事業計画・予算報告</p>

6 理事会の開催状況

区分	開催月日・場所	出席者数	議 題 等
第1回 定例会	平成30年5月28日(月) 札幌市身体障害者福祉 センター 第1会議室	理事 5名 監事 1名	<p><決議事項></p> <p>①平成29年度事業報告書の件 ②平成29年度決算報告書の件 ③定時評議員会の招集に関する件 ※全て原案どおり承認、可決</p> <p><報告事項></p> <p>①平成29年度決算監査報告 ②理事長の職務執行状況の報告</p>
第2回 定例会	平成30年11月21日(木) 札幌市身体障害者福祉 センター 第1会議室	理事 5名 監事 2名	<p><決議事項></p> <p>①各職員の就業規則の一部改正の件 ②平成30年度第1次補正予算(案)の件 ※全て原案どおり承認、可決</p> <p><報告事項></p> <p>①平成30年度上期事業報告 ②平成30年度第1・四半期の監事監査報告 ③評議員の辞任承認報告 ④理事長の職務執行状況の報告</p>
第3回 臨時会 (決議の 省略によ る開催)	・決議があったものと 見なされた日 平成31年1月28日(月)	同意を得た理 事 6名全員 確認を得た監 事 2名全員	<p><決議事項></p> <p>①評議員辞任に伴う補欠選任評議員候補者の 評議員選任・解任委員会への推薦の件 ②平成30年度第1回評議員選任・解任委員会 の招集に関する件 ※全て原案どおり承認、可決</p>
第4回 臨時会	平成31年3月20日(水) 札幌市身体障害者福祉 センター 第1会議室	理事 6名 監事 2名	<p><決議事項></p> <p>①平成30年度第2次補正予算に関する件 ②施設長の継続雇用に関する件 ③事務局長の継続雇用に関する件 ④運営規程の一部変更に関する件 ⑤2019年度事業計画・予算に関する件 ※全て原案どおり承認、可決</p> <p><報告事項></p> <p>①平成30年度第2及び第3・四半期の監事監査 報告 ②評議員選任・解任委員会の選任結果報告</p> <p><その他></p> <p>・2019年定時評議員会の招集について</p>

7 監事監査の状況

回数	区分及び開催月日	監査内容	意見
第1回	<p>・平成29年度決算監査 (平成29年4月1日～平成30年3月31日分)</p> <p><業務監査> 平成30年5月10日(木)</p> <p><会計監査> 平成30年5月15日(火)</p>	<p><業務監査></p> <p>①規程整備 ②事業(活動)の概要 ③法人の役員等 ④理事会・評議員会の運営等 ⑤人事・労務管理 ⑥施設・事業の運営管理 ⑦福祉サービスの質の向上 ⑧社会福祉充実計画 ⑨情報の公開 ⑩その他</p> <p><会計監査></p> <p>①会計帳簿の作成状況 ②予算 ③出納・財務 ④契約状況 ⑤資産の管理 ⑥残高証明書との照合 ⑦資金異動の確認 ⑧決算時の処理 ⑨入所者預り金 ⑩その他</p>	<p>「監事の意見」</p> <p>・事業報告及び附属明細書に関する意見～適正である</p> <p>・計算関係書類及び財産目録に関する意見～適正に示しているものと認める</p> <p>「個別事項に関する意見」</p> <p>①から⑨の各項目～適正である ⑩に関して、特になし</p>
第2回	<p>・定期監査 (第1・四半期分:平成30年4月1日～6月30日)</p> <p><業務監査> 平成30年8月20日(月)</p> <p><会計監査> 平成30年8月17日(金)</p>	<p><業務監査></p> <p>①規程整備、②事業(活動)の概要、③法人の役員等、④理事会・評議員会の運営等、⑤人事・労務管理、⑥施設・事業の運営管理、⑦福祉サービスの質の向上、⑨情報の公開</p> <p><会計監査></p> <p>①会計帳簿の作成状況、②予算、③出納・財務、④契約状況、⑤資産の管理、⑦資金異動の確認</p>	<p>「監事の意見」</p> <p>・事業報告及び附属明細書に関する意見～適正に行われている</p> <p>・計算関係書類に関する意見～適正に行われている</p> <p>「個別事項に関する意見」</p> <p>・各項目～適正である</p>
第3回	<p>・定期監査 (第2・四半期分:平成30年7月1日～9月30日)</p> <p><業務監査> 平成30年11月29日(木)</p> <p><会計監査> 平成30年11月30日(金)</p>	<p><業務監査></p> <p>③法人の役員等、⑤人事・労務管理、⑥施設・事業の運営管理、⑦福祉サービスの質の向上、⑨情報の公開</p> <p><会計監査></p> <p>①会計帳簿の作成状況、③出納・財務、④契約状況、⑤資産の管理</p>	<p>「監事の意見」</p> <p>・事業報告及び附属明細書に関する意見～適正に行われている</p> <p>・計算関係書類に関する意見～起票、記帳は適正と認める。但し、規程の追加を要すると判断</p> <p>「個別事項に関する意見」</p> <p>・各項目～適正である</p>

回数	区分及び開催月日	監査内容	意見
第4回	・定期監査 (第3・四半期分:平成30年10月1日～12月31日) <業務監査> 平成31年2月7日(木) <会計監査> 平成31年2月5日(火)	<業務監査> ⑤人事・労務管理、⑥施設・事業の運営管理、⑦福祉サービスの質の向上 <会計監査> ①会計帳簿の作成状況、②予算、③出納・財務、⑤資産の管理、⑦資金異動の確認	「監事の意見」 ・事業報告及び附属明細書に関する意見～適正に処理されている ・計算関係書類に関する意見～適正に処理されていると認める 「個別事項に関する意見」 ・各項目～適正である

8 評議員選任・解任委員会の状況(定数:3名)

※社会福祉法の改正により、平成29年2月15日開催の平成28年度第3回理事会において選任
 (任期:平成33年6月の定時評議員会終結時まで)

(1) 評議員選任・解任委員(役職等は改選時現在)

氏名	就任年月日	選出区分	備考
泉 司	平成29年2月15日	法人監事	一般社団法人常務理事
中村 康子	平成29年2月15日	外部委員	大学非常勤講師
小田 智美	平成29年2月15日	事務局員	法人本部事務職員

(2) 委員会の開催状況

第1回委員会【平成31年2月5日(火) 午後1時から、法人施設内(相談支援室)において】

・出席者:委員3名、説明員2名～理事長、理事(事務局長)

審議事項

第1号議案 評議員辞任に伴う補欠評議員の選任の件

武藤雅人評議員が平成30年10月31日付けで辞任し、欠員となっていた評議員の選任を行う。理事会より候補者の推薦を受け、全委員一致で可決、選任する。

選任された評議員の氏名:佐藤 一輝(さとう かずてる) 氏 48歳

任期:退任した評議員の残期間(平成33年6月の定時評議員会終結時まで)

9 第三者委員の状況(定数:2名)改選:平成29年3月25日(任期:平成31年3月24日まで)

苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や状況に配慮した適切な対応を図るために設置。
 なお、今年度第三者委員が対応した苦情処理案件は0件。

(1) 第三者委員(役職等は改選時現在)

氏名	就任年月日	区分	備考
齋藤 洋介	平成27年6月1日	重任	社会福祉法人職員、当法人監事
中村 康子	平成24年10月31日	重任	大学非常勤講師

(2) 委員会の開催

第1回委員会【平成30年12月11日(月)】委員2名出席、理事長、施設長、事務局長

案件

- ①平成29年度及び平成30年度上期ヒヤリハット、意見・要望、苦情、事故報告について
- ②意見交換

10 運営会議の開催

法人運営に関して、経営及び運営状況の現状と課題等を把握・検討するとともに、各管理者及び施設等の事業報告、日程調整を行い、法人経営の改善と事業運営の円滑化を図るために実施。

併せて、事業運営に対する現場の意見、要望を徴取すると共に、法人の執行方針の浸透を図るため、各施設の管理者等を交えた『拡大運営会議』を必要に応じて開催している。

(1) 運営会議

開催月日	出席者	協議事項等
平成30年4月9日(月)	理事長 施設長 事務局長	①保護者会について ②決算監査、理事会について ③新年度事業の執行状況について ④当面する日程、諸課題の調整
平成30年5月17日(木)	理事長 施設長 事務局長	①第1回理事会の提案議題について ②定時評議員会の開催について ③拡大運営会議の開催について ④当面する日程、諸課題の調整
平成30年6月7日(木)	理事長 施設長 事務局長	①定時評議員会について ②4月の月次試算報告と資金収支見込みについて ③賞与支給率について ④当面する日程、諸課題の調整
平成30年7月12日(木)	理事長 施設長 事務局長	①職員体制について ②当面する日程、諸課題の調整
平成30年8月7日(火)	理事長 施設長 事務局長	①職員体制について ②当面する日程、諸課題の調整
平成30年9月11日(火)	理事長 施設長 事務局長	①定時理事会の提案議題と日程について ②労働基準法等の改正に伴う規程の整備について ③ヘルパー、支援員の確保について ④当面する日程、諸課題の調整
平成30年10月16日(火)	理事長 施設長 事務局長	①就業時間の適正な把握と時間外勤務の状況と対応について ②補正予算の方針と定例理事会について ③来年度の営業日程(GWの対応等)について ④拡大運営会議の開催について ⑤当面する日程、諸課題の調整
平成30年11月12日(月)	理事長 施設長 事務局長	①補正予算の検討と定例理事会提案議題について ②第三者委員会の開催について ③職員配置について ④当面する日程、諸課題の調整
平成30年12月11日(火)	理事長 施設長 事務局長	①新年度の営業方針について ②各事業所の職員体制と今後の対応について ③当面する日程、諸課題の調整

開催月日	出席者	協議事項等
平成31年1月15日(火)	理事長 施設長 事務局長	①新年度の利用見込と職員体制について ②継続雇用者に対する給与決定に関する内規について ③新年度の営業方針と予算編成方針について ④当面する日程、諸課題の調整
平成31年2月14日(木)	理事長 施設長 事務局長	①新年度の利用見込と職員体制について ②職員採用及び登用について ③新年度事業計画と予算について ④当面する日程、諸課題の調整
平成31年3月13日(水)	理事長 施設長 事務局長	①新年度事業計画と予算について ②次回理事会の提案議題について ③当面する日程、諸課題の調整

(2) 拡大運営会議

開催月日	出席者	協議事項等
平成30年12月3日(月)	理事長 施設長 事務局長 各施設管理者・チーフ	①H30年度上期の事業報告と予算執行状況及び第1次補正予算について ②新年度の営業日程(GWの連休対応、夏季、年末・年始の休暇等)及び各施設の事業計画について ③新年度の予算編成について ④労働基準法等の改正に伴う就業規則の改正について ⑤各施設の状況と課題、対応策について ⑥当面する日程、諸課題の調整
平成31年2月18日(月)	理事長 施設長 事務局長 各施設管理者・チーフ	①新年度事業計画と予算編成について ②土曜日開所による利用状況と今後の対応について ③勤務時間、時間外勤務時間、年次有給休暇の把握と適正な管理に向けた対応について ④各施設の状況と課題、対応策について ⑤当面する日程、諸課題の調整

11 常勤職員会議、スタッフ会議、ドライバー会議の開催

(1) 常勤職員会議(月1回開催、O・H・G～第3水曜日、O・むすび～第2水曜日)

施設長と各生活介護事業所の常勤支援員を対象に、状況に応じて看護職、運行管理員、事務局も加わり、毎月1回、事業所ごとに開催。このほか、両事業所合同の常勤会議も随時開催。

各事業所における行事及び利用者の状況等の確認とスタッフ会議に向けた案件の検討を行うとともに、「ヒヤリハット」案件の報告と課題や事故再発防止対策の検討、並びに利用者の処遇及び事業所の運営上重要な事項の連絡を行い、常勤支援員の連携と情報の共有化を図っている。

また、合同の常勤会議では、各事業所の状況報告、課題の提供を行うことで、事業所間の情報の共有化を図るとともに、合同で実施する行事等の検討、調整を行い、各事業所間の連携も図っている。

(2) スタッフ会議(月1回開催、O・H・G～第4月曜日、O・むすび～第2金曜日)

各事業所の全ての支援員、看護職員を対象に、状況に応じて運行管理員、事務局も加わり、月1回開催。

行事、連絡事項の伝達のほか、利用者の処遇や行事・送迎・入浴などサービス提供に関する課題の検討及び「ヒヤリハット」案件の報告と課題や防止対策の共有化を図るとともに、職員の勤務体制並びに事業所内の衛

生保持に関することなどについて検討している。また、外部研修等の報告及び事例発表を行うことで、技術の向上や事故予防意識を醸成するとともに、各利用者の現状と活動上の課題等を把握し、職員間での現状認識の統一及び知識、技術の共有化を図っている。

(3)ドライバー会議(原則偶数月に施設単位で開催)

各生活介護事業所の送迎運転員を対象に、運行管理員、事務局長若しくは施設長が加わり開催。

時期に応じた安全運転に対する注意喚起と、行事、連絡事項の伝達のほか、利用者の状況変化等により送迎時における対応や注意点の確認、「ヒヤリハット」案件の報告と課題や防止対策の共有化を図るとともに、送迎車両の点検・確認を行うことで、安心・安全な送迎サービスを提供できるように意識の向上を図っている。

12 職員の配置状況

※()は外数で兼務職員

所 属	職 種	H30年 3月末日	H30年 4月1日	増	減	H31年 3月末日	備 考
本部事務局 (事務局長含む)	正職員	4	(1) 3	0	0	(1) 3	4月より施設長 はOむすびと 兼務
	準職員	0	0	0	0	0	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	
	計	4	(1) 3	0	0	(1) 3	
生活介護事業 O・H・G(おはぎ) (管理者含む)	正職員	4	5	0	1	4	・派遣職員 H30.11まで2名 H30.12まで1名 以降 0名
	準職員	4	3	1	0	4	
	非常勤職員	12	11	4	2	13	
	計	20	19	5	3	21	
生活介護事業 O・むすび(おむすび) (管理者含む)	正職員	(1) 3	5	0	0	5	・派遣職員 H30.7まで1名 H30.8から2名
	準職員	3	2	1	1	2	
	非常勤職員	13	13	5	2	16	
	計	(1) 19	20	6	3	23	
居宅介護事業 (重度訪問介護) DAI-ふく	正職員	(1) 2	(4) 2	0	0	(1) 2	
	準職員	(3) 0	0	0	0	(3) 0	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	
	計	(4) 2	(4) 2	0	0	(4) 2	
法人全体	正職員	(2) 13	(5) 15	0	1	(5) 14	・派遣職員 H30. 7まで3名 H30.11まで4名 H30.12まで3名 H31. 1から2名
	準職員	(3) 7	5	2	1	6	
	非常勤職員	25	24	9	4	29	
	合 計	(5) 45	(5) 44	11	6	(5) 49	

※H30.3.31付け退職者:正職員1名(本部、定年)、非常勤職員1名(O・H・G、送迎員、契約期間満了)

※H30.4.1付け正職員登用者(準職員より):(O・H・G)1名、(O・むすび)1名、嘱託(正職):(O・むすび)1名

※H30.4.2以降の年度途中採用者11名:準職員2名～内訳:支援員2名(O・H・G)1名、(O・むすび)1名
非常勤職員9名～内訳:支援員6名(O・H・G)4名、(O・むすび)2名
他3名(O・むすび:看護師2名、送迎員1名)

※H30.4.2以降の年度途中退職者10名:正職員1名～内訳:支援員1名(O・H・G)

準職員1名～内訳:看護師1名(O・むすび)

非常勤職員4名～内訳:支援員3名(O・H・G)2名、(O・むすび)1名
送迎員1名(O・むすび)

(退職事由内訳:自己都合6名～うち転職2名、転居2名、その他2名)

※H31.3.31付け退職者:正職員1名(本部、定年⇒嘱託で継続)

※派遣職員2名の契約期間はH31.3.31まで

13 職員研修の状況

【内部研修】

研修名	開催月日	開催場所	担 当	出席者
キャリアパス支援研修 『個々の持ち味を生かせる職 場づくり』	7月18日(水) 8月29日(水)	〇むすび 活動室	社会保険労務士 倉 雅彦 氏	生活支援員、 介護従業者全員

※「キャリアパス支援研修」は、北海道の「平成30年度介護従事者確保総合推進事業」補助金を活用して実施している。

【外部研修】

研修名	開催月日	開催場所	主 催	出席者数
ファシリテーション研修	7月20日(金)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1名
社会福祉法人ブロック研修会	9月3日(月)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1名
人材定着セミナー	9月4日(火)	自治労会館	(株)アドバンテージ	2名
キャリアアップ研修	10月18日(木) ～19日(金)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1名
社会福祉法人監事研修	11月14日(水)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	3名
安全運転管理者講習	11月28日(水)	ホテルヤマチ	北海道安全運転管理 者協会	1名
集団指導	11月29日(木)	わくわくホリデイホ ール	札幌市	3名
エルダーメンター研修	12月14日(金)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1名
リスクマネジメント研修	1月15日(火)	かでの2・7	北海道社会福祉協議会	1名
地域公益活動セミナー	2月13日(水)	TKR(毎日札幌会 館)	北海道社会福祉協議会	2名

※内部研修、外部研修参加後には、報告書を提出しスタッフ会議などで内容を報告。

【個別面談】※個別面談は、原則理事長と施設長が年間を通して随時実施

実施期間	対象職員
4月2日～	全職員

【新人研修】※原則該当職員の個別面談時に実施

当法人の運営方針の理解、及び職員としての倫理、接遇などを行う。

実施期間	対 象 職 員
平成31年1月22日～	樋郡由紀子、本間晃代、石黒浩美

【資格取得研修】

研 修 名	開 催 月 日	開 催 場 所	講 義 内 容 等	参 加 数
サービス管理責任者研修	5月14日(月) ～16日(水)	自治労会館	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	1名
サービス管理責任者研修	6月18日(月) ～20日(水)	自治労会館 かでの2・7	北海道地域ケアマネジメントネットワーク	1名
防火防災管理者講習	2月2日(土) ～3日(日)	札幌市民防災センター	札幌市消防局	2名
通信制「実務者研修講座」受講 (H30年度7月生、8月生)	H30.7.1～ H30.12.31 ※内スクーリング 7日間(52:30)	日本福祉アカデミー 札幌校	・通信学習(4回課題提出) ・通学:介護課程Ⅲ(5単位)、医療的ケア(2単位)、合計7単位 ・受講者の保有資格により 320時間～450時間	7月生 3名 8月生 1名

※有期雇用(準・非常勤)職員の通信制「実務者研修講座」受講は、労働局の「人材開発支援助成金(特別育成訓練コース)」事業を活用している。

14 監査、運営指導等 ～ 札幌市の指導監査、昨年度実施のため本年度は指導監査の対象外

15 職員の事故等の状況

(1)業務中の事故等

①事業所内 3件(脱衣場での転倒1件、トイレ介助中の接触負傷1件、送迎車と接触負傷1件)

- ・入浴後の後片付けで、脱衣場の床に足を取られ、転倒しそうになり右手で支えた際に手を痛める。
- ・トイレ介助で汚物を捨てるため体を屈み、伸ばした際に壁のペーパーホルダーと頭部が接触し、擦過傷を負う。出血していたため病院を受診し、診察、治療を行っている。(通院は1日、労災申請)
- ・送迎時にハッチバックを閉める際に、ドアの角に頭部が接触し、腫れる。

②通勤時 2件(転倒2件)

- ・退勤時、自宅マンション駐車場から自宅に向かう途中、路上の雪塊につまずき転倒し、左ひざの皿を骨折する。(自宅療養2か月半程度、労災申請、業務災害保険の補償)
- ・出勤時、歩行者専用階段の凍結部分で足を滑らせ転倒し、左足首の骨折とじん帯を負傷する。(自宅療養2か月半程度、労災申請、業務災害保険の補償)

③送迎従事中の事故 7件(車両接触事故2件、小破自損4件、交通違反1件)

- ・直進中、車線変更車両との接触事故。利用者乗車中だが、利用者、運転手に負傷は無く、双方の車両破損。(O むすびレジラス、物損事故、双方の任意保険対応)
- ・優先道路横断時に右側からの車両と接触事故。利用者の乗車は無い。相手運転手が打撲、双方の車両破損。(OHG キャラバン、傷害・物損事故、双方の任意保険対応)
- ・縁石、雪塊、わだち等に接触する自損事故。(ハイゼット、キャラバン、ノア、赤セレナ、自前で修理)
- ・一方通行道路へ左折し逆侵入による違反。

(2)感染症等による体調不良

①感染症 5件(インフルエンザ:本人1件、家族等4件)

16 各事業運営の状況

1. 支援方針及びサービス内容に関して

(1) 個別支援計画の作成

毎日の記録の作成及び支援会議内における利用者個々の検討の積み重ねにより、利用者及び家族のニーズに沿った支援を行うことが出来るよう、計画の作成に努めている。

相談支援事業所によるサービス利用計画の作成がなされるようになったため、外部の相談支援事業所とのやり取りが増え、個別支援計画の作成にも反映されてきている。

(2) 食事サービスの提供

給食は、前年度と同様に週3回(月、水、木)実施している。

給食が提供されない火・金曜日は、お弁当屋さんからの購入や、散歩を兼ねて近くの店へ買い物に行く等の対応を行っている。

弁当の購入は、利用者にとっても非常に楽しみな時間となっており、また、業者の方との会話やお金の受け渡しなど、社会との貴重な接点となっており、社会性を養う上で大切な体験となっていることから、今後この給食提供の体制を続けていく考えである。

(3) 入浴サービスの提供

入浴は、週5日(月～金曜日)実施している。男性と女性を午前と午後に分けて対応している。

個人個人の希望に合わせた入浴介助を基本とし、利用者同士や職員とのコミュニケーションを楽しみながらゆったりと入浴できるように努めている。

また、感染症の対応が必要な利用者が増えてきたことから、利用時間の調整やタオルの管理など衛生面での対応に充分注意して実施している。

障がいの状況の変化等により、入浴介助が難しくなっている利用者もおり、浴室内の環境整備や入浴機器の導入などの検討が課題となっていたが、昨年6月にO・H・Gに入浴用リフトを導入し、利用者が安全に安心して入浴できるようになった。O・むすびでは、リフトの導入には難しい点があり、本人や保護者の同意を得てシャワーのみでの対応とさせていただいている。今後導入できる機器がないか検討課題となっている。

(4) 送迎サービスの提供

送迎に関しては、2つの事業所で送迎範囲を決めることで市内全域送迎を維持している。

送迎車の台数は14台となり台数としては満たされてきたが、車椅子ごと乗車できる人数が少ないことが課題として残っている。

古くなってきた送迎車の整備にも費用がかかってきており、入替を考えなければならない時期に来ている車両もあることから、今後も送迎車の確保に努めなければならない。

また、ドライバーの資質の向上と職員間の連携を図るため、会議や研修を実施し、利用者との関係づくりや安全で安心して利用できる送迎サービスの提供に努めているが、ドライバーの高齢化もあり、新規ドライバーの確保が課題となっている。

(5) 健康管理及びバイタルチェック

看護師を中心に、毎日の健康管理を行っている。

投薬の管理については、職員間でのチェックを行うなど、誤薬や飲み忘れの防止に努めている。

各業務のマニュアルを作成し、事業所内の衛生管理も行っている。

特にノロウイルス発生時のマニュアルの見直しや、マニュアルにあるような動きができるようにするため、実際に行動内容を確認するための模擬対応を行っている。

新たに医療的ケアが必要になってきた利用者もおり、日常生活の中で看護師の果たす役割が増えてき

ている。

(6) 創作的活動及び生産活動(布製品等の小物類の製作)、余暇活動

生産活動に関しては、利用者の身体機能や嗜好に合わせて、縫い物だけではなく、誰でも参加できる内容の作業を取り入れている。

利用者の身体状況を見ながら作業量を調整するように配慮しているが、頑張りすぎてしまう利用者もいるため、休憩が取れるよう職員からの声掛けや、違う作業に参加してもらうなど、気分転換を図りながら対応している。

日中活動の中で使用するゴミ袋丸め等の軽作業や、レクレーションのまとめ等の作業もメニューに取り入れることで、利用者同士のやり取りが増えるような場面を多くしている。

午前と午後の活動内容も数種類に分け、利用者の希望や考えで活動に参加してもらうようにしてきており、作業のみではなく、利用者同士や職員との関わりを持つ時間も大切にしながら進めている。昼休みなどには、同じ趣味を持っている利用者が集まって会話を楽しむ様子も毎日のように見られている。

また、自分でできることを時間をかけて行ってもらうことで、自信をもって行動することができるように促している。

土曜日に関しては、内容をなるべく利用者に考えてもらうようにしているが、なかなか意見が出るのが少なく、今後の活動の進め方を検討する必要がある。

O・H・Gでは、土曜日のレクレーションがなくなったため、平日にマジックやフラダンス等のボランティアを受け入れることで、利用者を楽しむ時間を提供するようにした。

O・むすびでは、第4土曜日のみレクレーションに特化した活動を残すことで、利用者の楽しみにつなげることが出来ている。

また、今年度も郊外散策ということで、送迎車を使って出かけるレクリエーションを5月から10月の間にそれぞれの事業所で3回企画し、延べ60名が参加した。意見交換会で行きたい場所を出してもらったものをもとに行先を決めるなど、利用者が関わりを持つことが出来るようにしている。

外出する行事では、昨年度までは職員体制を確保するために、2事業所合同での実施を行ってきたが、新しい利用者も増え対応が難しくなってきたため、今年度はそれぞれの事業所での実施とした。

(7) 身体機能及び日常生活能力の維持・向上のための支援

側弯や痙性の強さなど利用者の身体状況を考え、昼休みや午後の活動の中で、車いすから降りて横になる時間を作るようにしている。

また、午後の活動の前にラジオ体操を取り入れ、心身の緊張を和らげ、午後の活動への気持ちの切り替えを促すような対応を行っている。

なるべく現状の身体機能を維持していただくため、その日の利用者の体調を考慮しながら、自分でできることは時間をかけてでも行ってもらうよう心がけながら支援をしている。

呑み込みや呼吸などの面で不安が出てきている利用者もいるため、外部の医療機関や言語療法士、看護師などとの連絡を密にして対応している。

(8) 社会参加の促進

今年度も、それぞれの事業所がある地域で赤い羽根共同募金の街頭募金活動に参加し、積極的に社会とのかかわりを進めている。

社会貢献の一環として、地域のゴミ拾いなども散歩を兼ねて行うことを通して、町内の皆さんに理解を深めていただくよう努めている。

生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」では、町内会のゴミステーションの清掃や雪投げの当番に入り、町内会の構成員として活動している。

また、町内の夏祭りではカラオケ大会に参加したり、展示会に参加したりした。

生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」では、昨年と同じ町内にある保育所の年長児童が事業所を訪れ利用者との交流を行い、児童の障害者理解を深める機会となっている。

また、保育所での行事にも参加するなどして交流を深めている。

(9)生活相談

利用者及び保護者の生活に関する相談に対しては、常に対応できるようにしている。

ヘルパーステーションと協力しながら、利用者が希望する施設見学を設定し同行することなどを通して、利用者の今後の生活に結びつく支援ができるようにしている。

また、保護者の高齢化に伴い、介助の負担を軽減させるよう、相談支援事業所などとの連携を深め、情報の交換を行っている。

(10)サービスの質の向上に向けた取組

今年度からの全土曜日の開所に伴い、活動内容をレクリエーションに特化するのではなく、利用者主体を重視した活動を行うために試行錯誤を繰り返しながら行ってきた。

なかなか利用者からの主体的な意見が出てくるのが少なく、今後の活動をどうしていくかが検討課題となっている。

2. 利用者の状況(平成31年3月末現在)

昨年度よりも利用者が、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」では3名、生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」では1名増えている。

障害支援区分は、最も重度な支援区分6の利用者が圧倒的に多いことに変わりはない。

稼働率としては、今年度から全土曜日を開所し、土曜日の利用者がまだ少ないため、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」が70.4%(前年度75.9%)、生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」が79.3%(前年度84.9%)となっている。重度の利用者が多いため体調不良でのお休みが多いこととお休みの期間が長いことが課題となっているのは変わらない。

ヘルパーステーション DAI-ふくでは、契約者数は横這いだが、利用回数は年々増えており、相談支援事業所からの問い合わせ等も寄せられているが、昨年度同様ヘルパーの人数が少なく、利用希望時間が重なることが多いため、対応できない状況である。

※生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」

*定員 20名

*契約者数 41名(男性 21名、女性 20名)(平成31年3月末現在)

10代	20代	30代	40代	50代	70代
3名 (男1・女2)	25名 (男15・女10)	6名 (男4・女2)	4名 (男1・女3)	2名 (男1・女1)	1名 (男0・女1)

*契約者障害程度区分(3月末平均障害程度区分 5.4)

区分	2	3	4	5	6
人数	0名	3名	1名	8名	29名

※生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」

*定員 20名

*契約者数 32名(男性 14名、女性 16名)(平成31年3月末現在)

10代	20代	30代	40代	50代	60代
2名 (男0・女2)	14名 (男5・女9)	15名 (男9・女6)	1名 (男0・女1)	0名 (男0・女0)	0名 (男0・女0)

*契約者障害程度区分(3月末平均障害程度区分 5.2)

区分	2	3	4	5	6
人数	0名	1名	2名	12名	17名

※ヘルパーステーション DAI-ふく(平成31年3月末現在)

*居宅介護事業契約者数 14名

*移動支援事業契約者数 14名

*重度訪問介護契約者数 5名

3. 利用状況(平成31年3月末現在)

※生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」

*月平均利用人数 39名

区分	2	3	4	5	6	合計
月平均利用人数	0名	3名	0名	8名	28名	39名
月平均利用総日数	0日	37日	0日	91日	211日	339日

*平均開所日数 24日/月

*開所日平均利用人数 14.1名/日

※生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」

*月平均利用人数 30名

区分	2	3	4	5	6	合計
月平均利用人数	0名	1名	4名	10名	16名	31名
月平均利用総日数	0日	20日	69日	116日	177日	382日

*平均開所日数 24日/月

*開所日平均利用人数 15.9名/日

※ヘルパーステーション DAI-ふく

居宅介護事業平均利用回数 34回/月

移動支援事業平均利用回数 31回/月

重度訪問介護平均利用回数 11回/月

4. 平成 30 年度の活動

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容
4 月	3	火	新利用者歓迎会(おはぎ)	5 月	9	水	マジックボランティア来所(おはぎ)
	4	水	新利用者歓迎会(おむすび)		12	土	駒岡出店(おむすび)
	10	火	おむすび第 32 回常勤職員会議		16	水	おむすび第 33 回常勤職員会議
	12	木	おはぎ臨時常勤職員会議 おむすびドライバー会議		18	金	おむすび第 33 回スタッフ会議
	13	金	おむすび第 32 回スタッフ会議 おはぎドライバー会議		23	水	ちやいっれくさんでのポニーとのふれあいに参加(おはぎ)
	14	土	駒岡出店(おむすび)		24	木	入浴リフトの見学(おはぎ)
	18	水	おはぎ第 81 回常勤職員会議		26	土	おむすびレク(クイズ大会レク)
	20	金	おむすび保護者会		28	月	おはぎ第 86 回スタッフ会議
	21	土	駒岡出店(おむすび)		29	火	合同常勤職員会議
	23	月	おはぎ保護者会 おはぎ第 85 回スタッフ会議		31	木	ピリカ見学(おはぎ)
28	土	おむすびレク(パンケーキレク)					
6 月	2	土	入浴リフト設置(おはぎ)	7 月	2	月	吉田学園チャリティーコンペ出店
	11	月	おはぎドライバー会議		3	火	合同常勤職員会議
	12	火	合同常勤職員会議		7	土	真養おやじの会出店(おむすび)
	13	水	おむすび第 34 回常勤職員会議		10	火	イエローシート贈呈式
	14	木	おむすびドライバー会議		13	金	おはぎ郊外散策(さっぽろビール工場)
	15	金	おむすび第 34 回スタッフ会議		14	土	理学療法士会出店(おはぎ)
	16	土	駒岡出店(おむすび)		17	火	駒岡出店(おむすび)
	19	火	おはぎ第 83 回常勤職員会議		18	水	おむすび第 35 回常勤職員会議
	20	水	コカ・コーラファンデーご招待(合同)		20	金	合同職員研修
	21	木	マンドリンボランティア来所(おはぎ)		24	火	おむすび第 35 回スタッフ会議 おはぎ第 84 回常勤職員会議
23	土	おむすび郊外散策(おたる水族館)	25	水	駒岡出店(おむすび)		
25	月	おはぎ第 87 回スタッフ会議	27	金	合同常勤職員会議		
			28	土	拓北サマーフェスタ出店(おはぎ)		
			30	月	おむすびレク(みにばふえレク) フラダンスボランティア来所(おはぎ) おはぎ第 88 回スタッフ会議 駒岡出店(おむすび)		
8 月	4	土	町内カラオケ大会参加(おむすび)	9 月	1	土	午前～避難訓練(おはぎ) 午後～避難訓練(おむすび)
	8	水	ゴスペルボランティア来所(おはぎ)				楡の会秋まつり出店(おむすび)
	10	金	おむすび第 36 回常勤職員会議		5	水	エレベーター見学(おはぎ)
	17	金	おむすび第 36 回スタッフ会議		6	木	地震発生のため閉所(～9 日まで)
	22	水	おはぎ第 85 回常勤職員会議		10	月	笑話会ボランティア来所(おはぎ)
	23	木	合同常勤職員会議		12	水	おむすび第 37 回常勤職員会議
	25	土	おむすび郊外散策(札幌競馬場) ユアホームサービス福祉まつり出店(おむすび)		14	金	おむすび第 37 回スタッフ会議
	27	月	おむすびドライバー会議		19	水	おはぎ第 86 回常勤職員会議
	29	水	おはぎ第 89 回スタッフ会議		22	土	おむすびレク(ジンギスカン食べ放題)
	30	木	合同職員研修 おはぎ郊外散策(くるるの森)		24	月	クラークライオンズ交歓の集い出店(おはぎ)
			26	水	おはぎ第 90 回スタッフ会議		
			29	土	駒岡出店(おむすび)		

10 月	1	月	赤い羽根街頭募金参加(おむすび)	11 月	2	金	町内展示会出品(おむすび)
	3	水	赤い羽根街頭募金参加(おはぎ)		3	土	町内展示会出品(おむすび)
	4	木	ちやいれっさんの焼き芋作りに参加(おはぎ)		7	水	おはぎ郊外散策(三井アウトレット)
	7	日	ふれあいフェスタ		10	土	拓養祭出店(おはぎ) 駒岡出店(おむすび)
	13	土	駒岡出店(おむすび)		13	火	真駒内養護出店(おむすび)
	17	水	おむすび第38回常勤職員会議		14	水	おむすび第39回常勤職員会議
	19	金	おむすび第38回スタッフ会議		16	金	おむすび第39回スタッフ会議
	24	水	おはぎ第87回常勤職員会議		21	水	おはぎ第88回常勤職員会議
	25	木	おむすびドライバー会議		24	土	おむすびレク(映画鑑賞レク)
	27	土	おむすび郊外散策(三井アウトレット) 読み聞かせボランティア来所(おはぎ) 北翔養護学校祭出店(おはぎ)		26	月	おはぎ第92回スタッフ会議
29	月	おはぎ第91回スタッフ会議 おはぎドライバー会議	28	水	コカ・コーラ様より飲料寄贈(おはぎ)		
12 月	6	木	コカ・コーラ様より飲料寄贈(おむすび)	1 月	12	土	父母の会成人式
	7	金	真駒内養護高等部祭出店(おむすび)		16	水	おむすび第41回常勤職員会議
	8	土	おはぎ忘年会レク		18	金	おむすび第41回スタッフ会議
	12	水	駒岡出店(おむすび)		19	土	駒岡出店(おむすび)
	14	金	おむすび第40回常勤職員会議		23	水	おはぎ第90回常勤職員会議
	17	月	おむすび第40回スタッフ会議		26	土	おはぎ新年会レク おむすび防災講話
	19	水	おはぎドライバー会議		28	月	おはぎ第94回スタッフ会議
	20	木	おはぎ第89回常勤職員会議		29	火	ちやいれっさんとの交流(おはぎ)
22	土	おむすびドライバー会議					
26	月	おむすび年末レク おはぎ第93回スタッフ会議					
2 月	9	土	駒岡出店(おむすび)	3 月	9	土	駒岡出店(おむすび)
	13	水	おむすび第42回常勤職員会議		12	火	おむすび第43回常勤職員会議
	15	金	おむすび第42回スタッフ会議		15	金	おむすび第43回スタッフ会議
	20	水	おはぎ第91回常勤職員会議		16	土	おはぎ防災講話
	23	土	おむすびレク(デコちらし寿司レク)		19	火	おはぎ第92回常勤職員会議
	25	月	おはぎ第95回スタッフ会議 おはぎドライバー会議		23	土	おむすびレク(カラオケレク)
28	木	おむすびドライバー会議	25	月	おはぎ第96回スタッフ会議		

*この他にも、各事業所でのケア会議を随時実施。また、外部でのケア会議にも積極的に参加。

5. 実習、見学等受け入れ

おはぎでは、拓北養護学校高等部生3名、成人1名の実習を受け入れた。

また、おむすびでは、真駒内養護学校高等部生2名、拓北養護学校高等部生1名、成人1名の実習を受け入れた。

見学については、おはぎ、おむすびで利用希望者や保護者、養護学校教員、他事業所、相談支援事業所、専門学校生、職員希望者等の受け入れを行った。

6. ヒヤリハット、事故件数

当法人の考え方として、ヒヤリハットも事故も、起こりうるものだという考えの下で、起こってしまったことは事故(膝をつくなどの軽微な事でも)として処理をしているため、事故の件数が多くなっていると考えられる。

また、ヒヤリハットや事故の報告から、改善する点を見つけたり、職員が自らの介助について考える良い機会ととらえ、ヒヤリハットや事故をうやむやなままにしない職場環境を作ることを目指している。

*ヒヤリハット総数 7件

*ヒヤリハット月別・発生場所別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
トイレ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
事業所玄関前	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
自宅前	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	3	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	7

今年度は、送迎関係のヒヤリハットがあり、送迎ドライバーとの情報交換の重要性を再認識した。

また、利用者の障がいの重度化による身体状況の変化により、予測できないことが起こる等の状況が起きている。

そのため、今まで以上に今後の対策の話し合い等を職員間で重ねることで、施設内での転倒防止、送迎時の事故防止、入浴時・排せつ時の事故防止及び外出時の事故防止に努め、特に配慮を要する利用者への見守りや支援に関しては、職員間で情報を共有し、再度支援に対する共通理解を図っている。

また、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導を行っている。

*事故件数 16件

*事故月別・発生場所別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
トイレ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
活動室内	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	7
利用者宅前	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3
外出先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	3	0	0	2	2	0	0	2	1	1	3	2	16

※この中で、病院を受診するような事故は発生していない。

*事故内容

・椅子に座る際にバランスを崩ししりもちをついた。

- ・帰りの送迎時に、ドライバーが歩行介助をした際、バランスを崩し転倒した。
- ・トイレから出る際に、利用者が電動車いすの操作を間違い、洗面台に接触した。
- ・トイレで、利用者が起き上がろうとして、洗面台に頭をぶつけた。
- ・湯船から出る際に、利用者の膝が折れ、支えきれずに膝から床に崩れた。
- ・隣にいた利用者に、利用者の持っていたノートが当たってしまった。
- ・帰りの送迎時、ドライバーの介助で歩行していた利用者が、凍った路面ですべり右ひじをぶつけた。
- ・椅子から立ち上がり歩き出そうとした利用者の右足が、椅子の足にひっかかり膝をついて転び、正座の形で座り込んだ。
- ・外出先のカラオケ店で、タンバリンを持ち替えた時に、指の間を切り少量出血した。
- ・利用者が隣にいた利用者の腕を抓った。
- ・鼻腔栄養のチューブを、職員が指にひっかけ 12～13cm 程抜去した。
- ・洗身のためマットに降りる際、リフトの根元にあるモーターカバーに右足背部を擦るようにぶつけた。
- ・利用者が椅子から突然立ち上がった際に、足がふらつき尻餅をついた。
- ・利用者が投げた DVD ケースが、横になっている利用者の右腕にぶつかった。
- ・脱衣場で歩行介助をした際に、足を滑らせ転倒した。

※ 利用者の身体状況の変化で、今までの介助方法では対応できなくなっていることがあり、同じような状況での事故や危険があることを職員がわかっているにもかかわらずおこってしまう事故、同じ利用者の事故報告が多く発生している。

これは、見守りの対応の仕方、利用者とのコミュニケーションの取り方などを工夫することが防止につながるのではないかと考え対応している。

また、送迎時のドライバーによる事故も発生していることから、利用者についての情報や介助の注意点などをしっかり伝える必要性も再確認した。

常に事故が発生した際には、その日のうちに職員間で話し合いを行い、事故が発生した状況を確認し合い、注意の徹底を再度行い、危険個所の改善、活動中での危険性のある場面の検証を行い、職員間で事故に至らないための対応を検討し、共通理解を図っている。

また、事故報告書の作成の流れ及び対応の検討について、全職員間で考え、考えを統一していくことを再度確認している。

なお、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導を行うと共に、日中活動の中でも介助方法の確認やシュミレーションなどを行っている。

7. 売り上げ及び工賃支払状況

*売り上げの状況と工賃の支払い状況(H30.4月からH31.3月まで)

月	売り上げ額	材料費	残 額	工賃支払額
4月	26,018	58,389	▲32,371	124,400
5月	41,790	7,243	34,547	141,600
6月	23,895	17,617	6,278	127,600
7月	172,163	33,799	138,364	135,800
8月	24,791	34,303	▲9,512	123,400
9月	48,611	20,852	27,759	104,000
10月	102,138	83,526	18,612	138,800
11月	131,514	14,368	117,146	132,400
12月	27,665	14,373	13,292	120,400
1月	23,842	4,778	19,064	122,000
2月	27,010	30,006	▲2,996	121,800
3月	36,765	6,802	29,963	125,400
合 計	686,202	326,056	360,146	1,517,600

市内の養護学校や施設の行事での出店、及び元気ショップでの委託販売を中心に販売活動を行った。(7月、吉田学園のチャリティーでの販売、10月はふれあいフェスタでの販売、11月は障害者の日の受注があったため、売上額が大きくなっている。)

工賃については、O・H・G(おはぎ)、O・むすびで、一律1日200円の工賃を支給した。

(レクレーション、行事の参加は除く)